



J R 連 合 N E W S

J R 産 業 に 集 う
す べ て の 仲 間 の
J R 連 合 へ の
総 結 集 を !!

2024 年 度

N o . 8 9

2 0 2 5 年 6 月 6 日

日 本 鉄 道 労 働 組 合 連 合 会

交 運 労 協 「 第 30 回 交 通 運 輸 政 策 研 究 集 会 」 に 参 画 ! 人 材 を 確 保 し 、 魅 力 あ る 産 業 と す る た め に



交運労協は5月19日、東京都・アートホテル日暮里ラングウッドにおいて「第30回交通運輸政策研究集会」を開催した。「交通運輸・観光サービス産業を魅力ある職業とするために！」をテーマに掲

げ、会場には総勢約180名が集まった。JR連合からは、交運労協政策委員長を務める荻山市朗会長をはじめ内局役員および各単組代表者の14名が参画した。

冒頭、交運労協を代表し池之谷潤議長が「魅力ある産業の構築に向けて実りある集会にしよう」と挨拶。その後、筑波大学の田中洋子名誉教授と、空港グランドハンドリング協会の曾原倫太郎執行理事から基調講演が行われた。

続いて、荻山政策委員長をコーディネーターとし、田中名誉教授、曾原執行理事に加え、運輸労連坂井俊文書記次長、JR連合石川敏也産業政策局長及び交運労協慶島譲治事務局長をパネリストに「交通運輸・観光サービス産業の人材確保のための対策を考える」と題してパネルディスカッションを実施。石川局長は「官と民が連携して課題に対処し、行政と協働で人材確保・定着を図るべき」などと発言し、荻山政策委員長が「産業の魅力向上には労働者起点での取り組みとあわせて、消費者目線での理解醸成も必要。交運労協一体となり取り組もう」とまとめた。

最後に、櫻田あすか副議長が「誰もが働きやすい魅力ある産業にしていけるため、一致団結しよう」と呼びかけた。

JR連合は集会で得た知見を共有し、交運労協の一員として引き続き課題解決に取り組んでいく。